

授業科目名	ナチュラルアート			教員名	酒井 誠		
配当年次	2	開講時期	前期	単位数	1	授業形態	演習
卒業・免許・資格との関係							
授業内容を示すキーワード	自然を知る、色彩の活用、形状のデザイン、素材の特性を知る、技法を理解する						
授業の概要	自然界には様々な色や形、質感があります。この講義では自然物を利用した作品制作を通すことで、様々な素材・技法の理解と応用力を身につけます。						
授業のねらいと到達目標	<p>【ねらい】 身近にあるものを使用し、様々な技法を用いて作品を制作することで個々の創作に対する方法の引き出しを広げ、指導を行う際にも適切かつ、イメージを沸かせる事のできる指導者を育成する。1年時に行った図画工作/造形表現の探究よりも深く、専門的な知識を使用し、その技術を保育の現場に転用できないか考察する。</p> <p>【到達目標】 素材や道具それぞれに対する固定観念に囚われず、その場その場で目的にあった適切な表現ができるようになること。素材や道具の臨機応変な扱い方を知り、確実に安全な造形ができる、また指導ができるようになること。</p>						
授業の方法等	教育実習の3週間分を除く12回の授業を、講義と実技を伴った演習形式で行います。考え方や手順の説明の後、実際に制作していきます。						
成績評価の基準と方法	<ul style="list-style-type: none"> ■定期試験〔筆記〕50% ■授業への取り組み・態度 35% ■提出物 15% 						
教科書	適宜、資料を配布						
参考書	適宜紹介、資料を配布						
関連科目	図画工作、造形表現の探究						
質問受付の方法	オフィスアワーを含めて、随時受け付けます。						
履修上の注意	<p>1.動きやすく、汚れの気にならない服装で臨むこと。汚れを伴う作業を多々行います。</p> <p>2.積極的な姿勢で授業に関わること。集中して制作ができない、またはすぐ飽きてしまう方は履修を控えてください。</p> <p>3.受講に必要な道具、素材は予め指示します、必ず忘れないように持って来て下さい。</p>						

授業計画と時間外学習	ガイダンス/課題説明/フィールドワーク-作品制作素材の採取(押し花)
	1 <予習>オリエンテーション、シラバスを読む 45分 <復習>課題内容の確認、各自必要素材の採取 45分
	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作①/デザイン決め～張り込み作業
	2 <予習>予め装飾デザインを考える～必要な素材を考察 45分 <復習>必要素材(押し花)を調達 45分
	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作②/石膏流し込み作業
	3 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>各自必要素材の調達 70分
	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作③/たまご型石膏割り～やし繊維張り
	4 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>各自必要素材の調達 70分
	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作④/やし繊維貼り～押し花装飾
	5 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>各自必要素材の調達 70分
	石膏と風船、押し花を使用した球体型オブジェ制作⑤/押し花装飾～完成
	6 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>各自必要素材の調達 70分
空想生物標本制作①/デザイン及び設定決め～必要素材の検討～フィールドワーク	
7 <予習>予めデザインを考える～必要な素材を考察 45分 <復習>必要素材を調達 45分	
空想生物標本制作②/作品組み立て	
8 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>各自必要素材の調達 70分	
空想生物標本制作③/作品組み立て～完成	
9 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>各自必要素材の調達 70分	
太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習①/説明～実演～イメージ固め	
10 <予習>予めデザインを考える～必要な素材を考察 45分 <復習>必要素材を調達 45分	
太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習②/フィールドワーク(素材調達)～作品制作	
11 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>各自必要素材の調達 70分	
太陽と植物を利用したサイアノタイププリント実習③/作品制作～大判作品共同制作	
12 <予習>次回の講義内容の確認 20分 <復習>筆記試験課題の解答方法について検討する 70分	
定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆定期試験〔筆記〕60分 ◆振り返り・フィードバック〔定期試験の解説を行う〕30分